



社会教育便り

新年度がスタートしました

今年度も幡多地域の社会教育の充実に向けて、参考になる実践や研修などを紹介したり、各地域の情報発信の場として、社会教育便りを発行していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

幡多に広めよう！子ども読書の日

毎年4月23日は「子ども読書の日」です。(4月23日～5月12日までは、「子ども読書週間」です。)

西部教育事務所管内でも昨年度から「幡多はひとつ」の合言葉のもと、子ども読書の日である4月23日を、幡多の教育風土として「大切な人へ本を贈る日」を根づかせようとしています。

本屋さんに行って、新しい本を買って贈るだけでなく、学校図書館や市町村の図書館に行って子どもや親に読んでもらいたい本を借りたり、親が実家に眠っている子どもの頃に読んだ本を渡すなど方法は様々です。

この取組によって、本の持つ力を伝えるだけでなく、本をもとに親子の絆づくりや人と人との絆づくりにつながればと思っています。

三原村の取組を紹介します

4月27日(土)に三原村公民館図書室で「春の子ども読書まつり」が行われました。小学生だけでなく、保護者や図書館支援員の方々も参加し、読み聞かせや絵本作り(できた絵本をプレゼントする)を行っていました。

私も絵本作りに実際に参加させていただき、楽しい時間を過ごすだけでなく、息子にも絵本を贈ることもできました。(娘の方に好評でしたが・・・)

こうした取組が幡多全体に広がっていくことを願っています。



絵本作りに集中しています



読み聞かせをしています



できた絵本を持ってハイポーズ



お父さんと一緒に参加した女の子。できた絵本はお母さんにプレゼントするそうです。ステキですね。

